

「沿岸域総合管理研究会」について

1. 目的

近年沿岸域において、災害の発生や、藻場・干潟の喪失、砂浜の減少、水質の悪化、輻輳海域における利用者間の衝突など、環境・防災・利用の側面から様々な問題が生じている。また、メガフロートや洋上風力発電等、沿岸域での新たな開発・利用の形態が生じている。さらに、地球温暖化に伴う海面上昇等による国土保全への影響も懸念されている。

上記の事例及びその原因は、沿岸域全体に及び、相互に密接不可分に関連していることから、総合的に捉えていく必要がある。

そこで、様々な沿岸域の問題に対応した、望ましい沿岸域管理のあり方を検討することを目的として、国土交通省に、有識者からなる『沿岸域総合管理研究会』を設置する。

2. 研究会の構成

座長	來生 新	横浜国立大学大学院国際社会科学研究科教授（行政法）
委員	生田 長人	東北大学大学院法学研究科教授（行政法）
	磯部 雅彦	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授（海岸工学）
	大塚 直	早稲田大学法学部教授（環境法）
	黒田 勝彦	神戸大学工学部教授（交通計画）
	清野 聡子	東京大学大学院総合文化研究科助手（沿岸生態学）
	藤吉 洋一郎	NHK解説委員（マスコミ）
	風呂田 利夫	東邦大学理学部教授（海洋生物生態学）
	松本 宏之	海上保安大学校教授（海上交通）
	横内 憲久	日本大学理工学部教授（沿岸域計画・海洋建築）

（順不同・敬称略）

3. 開催スケジュール

第1回研究会	平成13年12月19日（水）
第2回研究会（予定）	平成14年 3月14日（木）